

竹林整備 力合わせ

富山総合支援学校PTAは30日、富山市金屋の同校グラウンド横の竹林整備を行った。里山再生に取り組む同市のNPO法人「きんたろう倶楽部」の協力で、竹を伐採しチップにしたほか、竹を使った花ポット作りも楽しんだ。

自然環境への関心を深める 長が「竹林をしっかりと整備し、とともに、地域と交流する場 少しでも交流を深めてもらいたい」とあいさつ。準備体操をした後、ヘルメットや軍手を身に着けた参加者は、力を合わせて一生懸命に汗を流した。

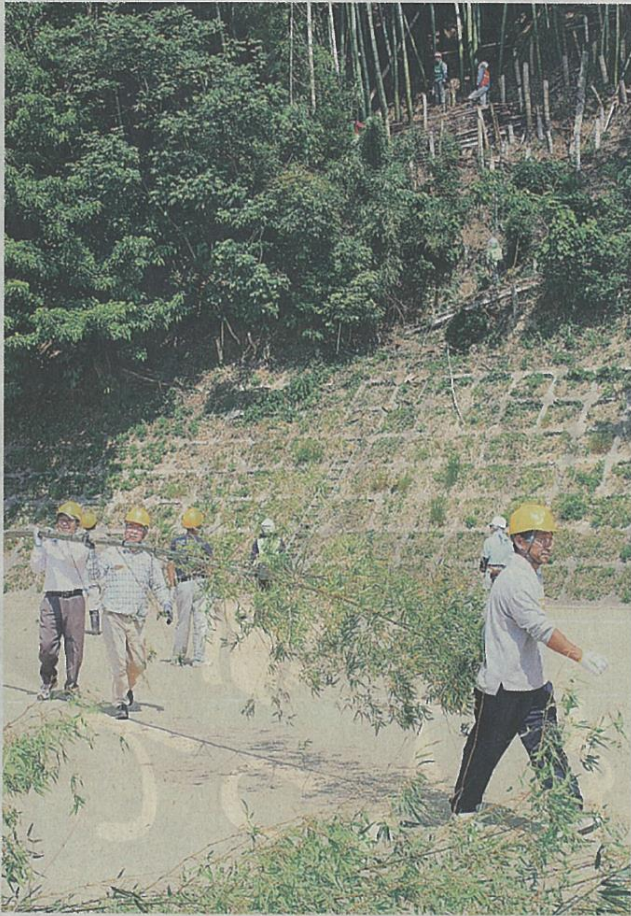
開会式で黒川智之PTA会

斜面に生い茂った竹を次々

に伐採し、グラウンドに下ろして運んだ。竹は粉砕機でチップにし、同市ファミリーパークで活用するためトラックに積んだ。

竹の根元の太い部分を活用した花ポット作りにも取り組んだ。竹をのこぎりで短く切り、節にドリルで小さな穴を開けて土を入れ、花の苗や種を植えた。和気あいあいとした雰囲気の中、協力して作業していた。

花ポット作りも楽しむ



グラウンド横の竹林整備に取り組む参加者